



第 461 号 平成 28 年 12 月 1 日
 発行所 京都市学校医会
 京都市中京区間之町通竹屋町下ル
 楠町 601-1 こどもみらい館 2 階
 TEL (075) 256-0351
 FAX (075) 241-3568
 発行人 林 鐘 声

専門医受診結果

会 長 林 鐘 声

京都市立学校（支援学校、定時制学校、育成学級は除く）の運動器検診の結果がまとまりました。教育委員会が各学校のデータを集計したものをまとめたものです。今回は、専門医受診結果を見て頂きます。

学校医が専門医受診を指示したのは、2,396人（2.5%）、そのうち実際に受診したのは小学生922人中290人、中学生1,240人中253人、高校生234人中21人の564人、23.5%でした。各々、3割、2割、1割の受診率となります。

異常なしの142人を除く422人の主だった病名を表1に挙げます。脊柱側弯症は215人と最多でした。今年と同様に脊柱検査に取り組んでいた昨年は33人に過ぎず、全員に前屈テストを実施したことが、イラストを見ながら学校医が検査問診票にチェックを入れたことが、増加の原因と考えられます。それでも、診断率0.2%は整形外科医が側弯検診を行っている数値と比べるとまだまだ低いものです。どこまで目

を細かくすることが求められるのでしょうか。

腰、上肢、下肢では149人の診断名の報告がありました。オスグッド病（31人）、腰痛症（13人）、腰椎分離症・汜り症（11人）が多い順ですが、有痛性外脛骨、膝の外傷など整形外科的治療、指導を要する疾患が例数は少なくとも巾広く報告されていました。小学3年生男子のペルテス病の報告も挙っていました。

学業を行うのに支障のあるような疾病、異常として適切な治療、指導が行なわれ良好な結果のでていることを期待しますが、学校医がそれを確認できるのは、学校保健委員会の場となるのでしょうか。ともあれ、学校医が行う運動器検診という制約の中では十分な結果であったと考えています。これ以上、目を細かくしたいということなら、整形外科医の出番です。また、受診率を上げるには整形外科医がいい仕事をするのが何よりです。

表 1：専門医受診結果 564人

脊柱側彎に関連 273人

	人数(男:女)	備考
脊柱側弯症	215(76:139)	小学生:93・中学生:120
姿勢異常	50(26:24)	
その他	8	漏斗胸:2

腰に異常 32人

	人数(男:女)	備考
腰椎分離症・汜り症	11(9:2)	中学生:8
腰椎椎間板ヘルニア	3(0:3)	小6~高1:3
腰痛症	13(7:6)	小6~高1:9
その他	5	

上肢に異常 12人

	人数(男:女)	備考
野球肘	3(3:0)	中学生:3
野球肩	1(0:1)	小6:1
肩関節炎	1(0:1)	中3:1
肩関節不安定	1(0:1)	中3:1
その他	6	

下肢に異常 105人

	人数(男:女)	備考
オスグッド病	31(26:5)	中学生:25
有痛性外脛骨	5(2:3)	小4~中3:5
膝半月板・靭帯損傷	4(2:2)	中学生:4
膝蓋軟骨靭帯軟化症	3(1:2)	中2~高3:3
シーヴァー病	3(3:0)	小5~中1:3
扁平足	3(2:1)	
内反足	2(2:0)	
外側側副靭帯損傷	2(1:1)	中学生:2
シンスプリント	2(1:1)	小5、中3
タナ障害	2(2:0)	小5、中2
足底筋膜炎	1(0:1)	中3
鷲足炎	1(0:1)	高1
ジャンパー膝	1(1:0)	高2
ペルテス病	1(1:0)	小3
その他	44	外反膝:6 内反膝:4 成長痛:3

異常なし 142人

第47回全国学校保健・学校医大会

第2分科会報告

福西小学校医 奥村正治

当初の演題数より、1題減って8題の分科会になりました。前半4題が、本年度から始まった運動器検診の話題で、あとの4題が運動器に関する諸問題や取組という話題でした。京都からは会長の林鐘声先生が「京都市立学校の運動器検診」と題して市立学校約98,000人のデータをもとに京都市の様子を話していただきました。京都の様に、校医と学校との協力のもと、検診が行なわれた府県はどれも少なく、他の3題はケンカまでとはいきませんが、協体制が出来ず、運動器検診をどの様にすべうまくいくだろうとの反省の弁を聞く話題となり、京都の方式を参考にしたいという府県が数県現われ、発表後の質疑では皆さん呆気に取られた様で、多くの質問はありませんでした。

私もちょうど大文字駅伝が、30年を迎えましたので、大文字駅伝の様子や、大会前の検診（心臓と運動器）の様子などを話して来ました。

学校医会と教育委員会・園校長部会・養護部会等と会を重ねて来た結果と思われるかもしれませんが、何を行なうにも、校医と学校との関係がギクシャクしていないのが京都市なんだと改めて知る機会になり、反面、他府県は検診や行事等々何かやることに問題を抱え、大変だという事を知りました。

運動器検診の話題は、来年2月23日（木）に府医師会で行なわれる京都府医師会学校医部会総会（午後2時～4時）の時に林先生より京都の会員の方々には話していただく予定になっております。

第47回全国学校保健・学校医大会

第3分科会報告 アレルギー・こころ

専務理事 杉本英造

1. 除去食指示書を兼ねた乳幼児食物アレルギー問診表の導入 奈良県
 2. アレルギー対策委員会設置の必要性を説いた教育ツールを用いた学校医講演による、市内学校でのアレルギー対策の設置効果についての検証について 大阪府
 3. 「学校生活管理指導票作成」のための「アナフィラキシー・食物アレルギー問診票」の活用 奈良県
 4. 学童期の食事摂取とアレルギー症状の関連性について 滋賀県
 5. 島根県出雲医師会の学校給食および保健所給食のアレルギー対策の取り組み 島根県
 6. アンケート調査からみた学校医の役割について平成18年度調査と比較し10年経過しどのように変化したか 京都府
 7. こどもたちの腸と心 熊本県
 8. 発達障害を抱える子どもたちへのライフスキルトレーニング 埼玉県
 9. クラス生徒の事例検討を電子媒体で行う方法 三重県
 10. 奈良市における児童・生徒の『心の健康』に関する相談及び診断事業について 奈良県
 11. 学校保健活動に関する学校医および群市医師会へのアンケート調査結果 北海道
- 1～5はアレルギー、6～11はこころについて。
- 演題1：既存の問診票質問に「生後1ヶ月以内アレルギー性胃腸炎になったことがありますか？」を加えて「新生児消化器症状」が、「生後1歳未満でアトピー性皮膚炎と言われたことがありますか？」を加えて「食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎」の有無が明らかにできた。
- 演題3：アナフィラキシー・食物アレルギー問診票を用いてエクセル入力することで指導票が自動的

に作成できてアナフィラキシーの知識を高められる(天理よろず相談所病院)。演題4:果実類摂取の奨励がアレルギー発生予防につながる可能性(ビタミンC,ポリフェノールが抗アレルギー効果)を示唆され興味深かった。

演題6:私の発表で詳細は来年の京都市学校医誌に投稿する予定。要旨:平成18年に学校長,学校医,養護教諭,スクールカウンセラー(SC)に行ったアンケート調査を平成28年に再度行い比較した。☆学校長・学校医・養護教諭・SC4者とも心の問題解決には連携が必要と認めている。☆学校側は学校医の忙しさに遠慮し,学校医も負担増,専門外を嫌う傾向にあった。☆校医と養護教諭,担任と養護教諭の連携は良好であり保健委員会の開催は10年前よ

り改善しており学校内問題の連携・相談窓口にするのがよい。

演題8:発達障害をかかえる子どもに接し方について,落ち着きない子が椅子に座る時は足が床についているか?1分待てない子どもには砂時計を使って習得させる等,具体例が示された。

演題10:京都市学校医会でおこなっている「心のワンポイント相談」に似た取り組み。

演題11:運動器検診は検診時間に影響を与えなかったが70%。専門医への紹介判断の迷い,運動器検診を知らない医師への啓蒙が次への課題。生活習慣指導表(アレルギー)を活用しているのは24%で,知らない医師が多かった。

第47回全国学校保健・学校医大会 第4分科会報告

平成28年10月29日,京王プラザホテル札幌,ホテルポールスター札幌にて開催されました。今年は「みんなで築こう子どもたちの未来-考えよう学校医の果たす役割-」をメインテーマに5分科会に分かれて研究発表が行われました。

私は第4分科会の耳鼻咽喉科の分科会に出席してきました。耳鼻咽喉科の学校検診や札幌市の補聴器購入助成制度などについて発表があり夫々の演題について活発に質疑応答があり時間がオーバーするほど熱心な討議でした。

当日は雪が時々ちらつくほどの寒い1日でしたが,懇親会では北国のおいしいものを沢山いただきました。

なお耳鼻咽喉科分科会の演題と抄録は下記のホームページに公開されていますのでご参照ください。

座長 日本耳鼻咽喉科学会北海道地方部会会長

氷見 徹夫

北海道耳鼻咽喉科医会会長 吉村 理

1. 旭川市の特別支援学校における耳鼻咽喉科健診の現状 北海道医師会 大橋 伸也
2. 耳鼻咽喉科学校医の未配置校解消に向けての取り組み 静岡県医師会 鳥居 智子

耳鼻咽喉科専門医会理事

学校保健担当理事 鈴木 由一

3. 新潟県における耳鼻咽喉科健診の実態調査から一行政への提言一 新潟県医師会 大滝 一
4. 札幌市の補聴器購入費助成制度の対象となった軽・中等度難聴児の検討 北海道医師会 新谷 朋子
5. 札幌市内のオープン教室での難聴児のきこえについて 北海道医師会 坪松 ちえ子
6. AABRパス症例が人工内耳に至った一症例の療育・教育の反省点と問題点 神奈川県医師会 寺崎 雅子
7. 22q11.2欠失症候群症例の発達,構音障害への教育的配慮 北海道医師会 西澤 典子
8. 機能的構音障害児の構音習得~訓練の効果と遷延の要因 大阪府医師会 愛場 庸雅
9. 学校健診からみた小児嚔声の検討 徳島県医師会 島田 亜紀

大会ホームページ

<http://www2.convention.co.jp/sapporo.med/school-47>
下記IDとパスワードを入力してダウンロードしてください。

I D: school47
パスワード: hokkaido

第7回 常任理事会

平成28年12月3日
於 事務局

出席者 林会長，竹内・井本副会長，杉本専務理事，
東道・大久保・山内・安野・川勝・西村各
常任理事，佐野眼科学校医会副会長，鈴木
耳鼻咽喉科専門医会理事，奥村副議長，長
村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 11/1, 11/8, 11/15, 11/29
各2名
2. 精神衛生研究会 11/10
3. 養護教育研究会 研修会
講師：柏井真理子先生 11/11
4. 京都市学校保健会研究発表会・表彰式
於：京都市総合教育センター 11/12
京都市学校保健会表彰祝賀会・懇親会
於：からすま京都ホテル 11/12
5. 次世代はぐくみプロジェクト事業
「思春期保健対策ネットワーク会議」
11/18 於：京都市役所
6. 感染性胃腸炎の発生状況について
7. その他

<協議事項>

1. 第31回京都市小学校「大文字駅伝」大会
出務医選出について H29 2/12
於：京都市勧業館みやこめッセ
2. 運動器検診 専門医受診の結果について
3. 新年会について H29 1/14
4. 感染症講演会について H29 3/4
於：ANAクラウンプラザホテル京都
5. 総会講師について H29 4/15 於：竹茂楼
6. 新任校医研修会について H29 3/23
於：こどもみらい館
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 12/6, 12/13, H29 1/10
2. 精神衛生研究会 12/8, H29 1/12
3. 第31回京都市小学校「大文字駅伝」大会
事前健康診断 12/10, 12/17
4. 腎臓相談 H29 1/10
5. 京都府歯科医師会 新年互礼会 H29 1/11
於：京都府歯科医師会口腔保健センター
6. 第8回常任理事会兼新年会 1/14
於：建仁寺 祇園丸山
17:00～理事会, 18:00～新年会
7. その他

京都市学校医会事務局 年末年始のお休みのお知らせ

12月28日(水)～1月4日(水)までお休みとさ
せて頂きます。1月5日(木)から通常業務と
なりますのでよろしくお願い申し上げます。